



～1月のクラスだより～



【1月の保育のねらい】

- ・自分の思いを簡単な言葉や仕草で伝えようとする。
- ・保育者の動きや仕草を真似しながら、リズムに合わせて身体を動かすことを楽しむ。

ひよこ組

<滑り台って面白い！>

ひよこ組のこどもたちは、“あれは何だろう？”“やってみよう！”と色々な物事に興味を示し、目を輝かせています。部屋に設置した段差や緩やかな斜面も、以前は「おっとと～」とよるけて手をつくこともありましたが、最近はずかりとした足取りで、歩いて上り下りすることができるようになってきました。“見て見て！すごいでしょ！”といったような誇らしげな表情や姿からも、「成長しているなぁ」と感動してしまう担任一同です。

歩行が安定してきた姿を見て、室内に滑り台を用意してみました。「ここからシューって滑ってごらん」と声を掛け、保育者が背中を支えながら滑ると、「きゃっ」と歓声をあげ大喜びです。ひとりでズルズルとゆっくり滑り下りてみたり、保育者に支えられながら滑ってみたり。何度も上っては下りてを繰り返し、楽しんでます。

こどもたちは今、上ったり下りたりが楽しい時期です。こどもたちのしたいことを遊びに取り入れ、楽しく身体を動かす遊びを取り入れていきたいと思っています。



【1月の保育のねらい】

- ・お正月遊びを楽しむ。
- ・保育者や友だちと一緒にしっぽとりや氷鬼を楽しむ。

○制作

ちゅうりっぷ組

お正月にちなんだ手作り凧を作って、戸外で走り、空に飛ばして遊びたいと思います。

オリジナル手遊びに夢中になっています

ちゅうりっぷ組では、「りんごころころ」の手遊びが人気です。いろいろな果物や野菜がでてきて「かぼちゃぼちゃぼちゃ 頭ぼさぼさ」など文字をいじった歌詞がおもしろい手遊びとなっています。既存の手遊びは2番まであるのですが、最近では「にんじん にんにん」は忍者みたいでいいんじゃないかな」「はくさい さいさい」って包丁で切るのはどう？」などこどもたちの方からアイデアがたくさん生まれ、今では5番まで増えました。自分たちで考えたこともあり、大人よりもよく覚えていて「次はバナナだよ」と教えてくれる子や友だち同士で楽しむ姿も見られます。文字や数字に興味が出てくる時期なので、遊びを通して言葉のおもしろさをたくさん経験してほしいと思っています。



【1月の保育のねらい】

- ・身の回りのことを自分から進んでする。

さくら組

次にステップアップの時期！？

朝の雑巾がけも、初めは一步步つゆくり進んでいたのが廊下の端から端までスムーズにいけるようになりました。大人や友だちと一緒に同じことを毎日して、日々積み重ねてきたからこそ今の雑巾がけの姿になっているのだと思います。まだ4歳の子もいますが、こどもたちがさらにもう1段階ステップアップできるタイミングに来たと感じています。1つ小さなことでも毎日していくと、できることが増えて自信にもつながります。特にさくら組のこども達に自分でやってもらいたいことをお知らせします。

朝の支度

- 自分のカバンから荷物を出す。
- 口拭きタオル、水筒、連絡帳を入れる。
- 自分のカバンをロッカーに掛ける。

最初はできなくて甘えなくなったりするかと思います。まずはお父さん、お母さんにやり方を教えてもらいながら自分でやってみて、ステップアップの一步目を一緒に進めていけたらと思います。



【1月の保育のねらい】

- ・お正月の遊びを楽しむ。
- ・友だちと体を動かして楽しく遊び、健康に過ごす。

【今月の取り組み】

- ・卒園文集に載せる絵を描いたり、インタビューに答えて自分のページを作る。

もみじ組

<年長児の力を見せてくれた「成長を祝う会」>

12月18日、成長を祝う会が行われました。今年の演目は『いろいろな、エルマーとリュウのぼうけん』。当日はハプニングもありましたが（ごめんなさい）、こどもたちは落ち着いて、練習したように劇を進めてくれました。リーダー的存在の5人のエルマー、2匹の可愛いねこちゃん、息の合った4匹のボリス、捕まっているのにどこかのんびりとした1匹のリュウの家族たち、全然あやしくない2人のあやしいにんげん、冒険を祝ってくれたチョコちゃん。もじもじすることなく、堂々と演じていました。「おうちの人に見せたい！」とずっと願っていた縄跳びも披露でき、こどもたちは満足だったようです。

ここでタイトル秘話を。今年度行った行事にはなぜか“もみじ23にんの”という言葉がついていました。今回のタイトル決めの時、やはりこの言葉が出ました。こうなるのもう泥沼です。それぞれが自分の思う“もみじ23にんの”を言い出しました。誰か助けてーと私たちが思っていた時、「じゃあ、“いろいろなエルマーとリュウのぼうけん”にしたら？」と一人の子が言った途端、みんなの気持ちがずとんとそこに落ちたのです。みんなの気持ちがひとつにまとまった瞬間でした。

こどもたちがやりたいことを、こどもたち主体で進める、というのは年長児の大きな目標の一つです。担任が考え、こどもたちに提案するのは簡単です。私たちもその方が楽し、見通しが持てます。でも、こどもたちの「こうしたい」を待ち、何回も話し合い、一緒にもやもやしたり考えたからこそ、こどもたちの楽しそうな笑顔が見られたのだと思います。本当に、こどもたちの成長を感じた取り組みでした。



【1月の保育のねらい】

- ・保育者の側で食事、着脱、排泄などを、自分でやってみようとする。
- ・保育者や友だちと手を繋いで歩くことに慣れる。

りす組

<友だちと手を繋ぐのって楽しいね>

こどもたちは散歩に行くのが大好きです。大グループは全員手繋ぎで、小グループは手繋ぎと箱車を使っています。靴を履くと「歩く！」と言いながら、保育者や友だちと手を繋いで散歩に行く気満々です。「さんがいい」「ちゃん繋ごう」とこだわる姿もあり、保育者や友だちと手を繋いで歩くことを楽しみにしているようです。繋げなかった時には「繋ぎたかったね、でも今日はお友だちと手を繋いでいるから明日一緒に繋ごうか」と思いを受け止め納得してから歩くようにしたり、「今日にはんにゃんがいるかな」など楽しさを感じられるような声かけをしたりしています。いざ出発となると「レッツゴー！」の掛け声と共に嬉しそうに歩き始めるこどもたち。「にんにゃんいるね」「お花あった」「青いプープ」など、指差しをしながらたくさんお話をしています。手を繋いでいる友だちと微笑みあう姿や、転んでしまうと「大丈夫？」と心配する姿も見られるようになってきました。たくさんの発見や驚きを友だちと共有し、“楽しい”“おもしろい”をたくさん感じる事ができる散歩にしていきたいと思っています。



【1月の保育のねらい】

- ・お正月遊びに触れ、保育者や友達と楽しむ。(コマ、凧など)
- ・遊びや生活の中で気の合う友達と言葉のやり取りをする。

うさぎ組

<なりきって楽しいな>

絵本や紙芝居を読んでもらうことが好きになってきました。最近では動物が出てくるお話（『てぶくろ』『おおきなかぶ』など）を繰り返し読んでもらっています。読み終わると、すぐに動物帽子を被っては「チューチュー、ねずみだよ」「わたしはかえるさん」「きばもちいのししだ！」と言い、好きな動物になりきり、ウレタン積み木を組み立てて手袋に見立てて遊び始めています。また、公園では地面からとびだしている木の根を見つけると「かぶだ！」「なかなか抜けません」「じゃあくんを呼んでこようよ」とおおきなかぶごっこが始まり、やり取りする姿があります。

友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ始める頃ですが、自分の思いを言葉にすることが苦手な子もいるので、自分の気持ちやイメージを伝えられず、トラブルになってしまうこともあります。そういう時は、保育者と一緒に「ちゃんも手伝いにきたよ」「もてぶくろに入れてください」などと、できるだけ遊びのイメージを崩さないように関わることを大切にしています。そうすると、自然に遊びに入っていくことができるこども達です。

